



Safe Crop Project News



No.20 2019年5月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016年～2021年）」は、北部地域2市11省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライ・チェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

2016年7月に開始した本プロジェクトは、5年間のプロジェクト期間の後半を迎えています。これまで、毎月個別の活動報告をさせていただいておりましたが、今号では、CPMU (Central Project Management Unit) 代表として、プロジェクト全体の実施管理に携わっている、農業農村開発省作物生産局の Tran Xuan Dinh 副局長に、プロジェクト期間前半の総括をいただきます。

プロジェクト前半を振り返り

「北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト」は、ベトナム政府の食品安全に係る国家目標において重要な取り組みである「安全農産物の生産促進と発展」を支援する、日本政府の技術協力プロジェクトです。

本プロジェクトは「農産物の生産体制および制度運営能力向上プロジェクト（2010年7月～2014年6月）」の後継案件に位置づけられます。ベトナム政府からの要請に基づき、日本政府によって案件が採択された後、プロジェクト活動と内容、期待される成果と目標等の詳細計画が策定されました。その後、2016年2月にベトナム政府とJICAの間でプロジェクト実施や活動、必要な措置についての合意文書 (Record of Discussion: R/D) が締結され、2016年7月より本プロジェクトが開始されました。

プロジェクト全体目標は、ベトナム北部地域の農産物の安全性と信頼性の向上を図り、安全作物栽培の振興に寄与することです。期待される具体的な成果は以下の通りです。

- 1) 農業農村開発省作物生産局、地方省・市、郡、コミュニティの安全作物生産にかかるモニタリング、管理能力が向上する。
- 2) 生産現場の状況に応じて、GAP (Basic GAP/VietGAP/Global GAP) に則った安全野菜の生産から消費までのサプライ・チェーンにかかる様々なパターン (「モデル」として) が提示される。
- 3) 生産者と購買者 (消費者や卸・小売業者などのトレーダー) の安全作物生産と食の安全にかかる意識が向上する。

消費地としてのハノイ市、及び生産地としてのパイロット省 (ハイズオン省、ハナム省、フンエン省) におけるパイロット活動は2017年4月に始動し、2018年9月には、セミパイロット省 (タイビン省、ピンフック省、フートー省) における活動が開始されました。2018年末には経験共有市・省 (ハイフォン市、クワンニン省、ナムディン省、ニンビン省、バックニン省、ホアビン省) に対する活動計画が策定され、現在、実施展開されています。

本プロジェクトの前半を振り返り、達成された顕著な成果を以下に挙げます。

市場と顧客のニーズに基づく生産計画

2016年11月から12月にかけて、パイロット省3省において、各省より対象グループ候補として挙げられた合計19グループ、300世帯を対象にベースライン調査を実施し^{*1}、対象グループとして7グループ (農協、農家グループ、農業法人) が選定され、2017年4月に開催したJCC (Joint Coordinating Committee) で正式に承認されました。プロジェクトでは、サプライ・チェーンに沿った生産支援として、市場と顧客のニーズに基づく生産計画の作成、生産の組織化支援を実施しています。これは、「生産量が増えた時には価格が下がり、価格が上がった時には生産量が落ちる」という、計画性のない生産に起因するベトナムの農業生産に内在する問題に対処するアプローチです。

生産工程における新技術の導入と透明性の確保

モデルサイトにおいては、不織布、日本の技術による小規模堆肥作り、育苗技術等が導入された他、記帳フォームも記録しやすいように改訂されました。また、生産工程のモニタリング、グループのロゴと商品ラベル設計、農協幹部の役割分担の明確化、情報確認、プロジェクトが支援した簡易テストによる農産物の残量農薬チェック、市場のバイヤーによる農産物の安全性のランダムチェック等により、生産工程における透明性と安全性を確保できるようにしています。2018年9月には、新たに13グループ (パイロット省: 6グループ、セミパイロット省: 7グループ) が正式に追加されました。これらのグループは、先の7グループによって達成された成果の継承を行っており、2018～2019年の冬作時点で20対象グループの安全作物生産面積は106.6haまで広がりました。



Yen Phu 農協の圃場にて (左が Tran Xuan Dinh 副局長)

共同販売の推進を通じた消費市場との連結促進

プロジェクト活動において特筆すべき点は、対象グループによって生産された農産物の安全性を確保すると共に、各グループと消費市場との連結を図っていることです。プロジェクトでは潜在的な顧客とのマッチングを図り、各グループは顧客のニーズに適った野菜の販売・納入に努めています。

市場との連結においては、農協を通じて共同販売を行う農家メンバーの比率が増えることを目指しています。2017～2018年の冬作では39%程でしたが、2018年夏作では79%まで増加しました（2018～2019年冬作については現在集計中）。潜在的な顧客とのマッチングについては、プロジェクト、対象グループやPPMU (Provincial Project Management Unit) により、合計150回のマッチングが行われ、この内、43回のマッチングが実際の取引に結び付きました。現在対象グループは62社（内プロジェクトが紹介したのは30社）と取引を行っています。

学校と女性連合を通じた意識啓発活動

これまでのところ高い成果を上げていると評価できる活動の1つに、主にハノイ市の消費者を対象とするコミュニケーション活動があります。2017年にはハノイ市の小学校194校の4年生52,514名に安全野菜に係るリーフレットが配布され、内30校の生徒10,350名がリーフレットの内容についてクラスで学びました。また、10校において「安全野菜と明るい未来」をテーマとするポスター制作が行われ、300作品から選ばれた30作品を制作した150名がポスターフェスティバルに参加しました。2018年にはハノイ市の高校39校において、10年生（日本の高校1年生）24,986名を対象にリーフレットが配布され、内6校

において「安全野菜をうちにもって帰ろう！」をテーマとするスライドショーの制作が行われました。121作品の中から18作品が最終選考に選出され、この内12作品が入賞し、2018年11月に表彰式が開催されました。更に、プロジェクト対象地域の女性連合を通じ、多くの消費者を対象に、意識啓発に係るリーフレットが紹介配布されました。これらの活動は、消費者の安全野菜に係る意識と信頼性の向上に貢献しています。

また、プロジェクトはハノイ市投資貿易観光促進センター（HPA）における「安全農産物のウェブサイト」設計を支援し、2018年8月よりHPAによって運営が開始されています。このウェブサイトには検索機能があり、安全食品ショップの検索や、市場のバイヤーと生産者のビジネスを促進することに役立っています。

プロジェクト前半を振り返り、農業農村開発省作物生産局はプロジェクトが当初の計画通りに進捗していると考えています。パイロット省のモデルサイトにおいて達成された成果、得られた教訓や経験はセミパイロット省において展開されており、また北部地域の他省に経験を共有して行く準備も開始しています。特筆すべき点は、サプライ・チェーンに沿った生産の組織化です。生産者グループは、秩序だった管理によって安全野菜を生産し、生産者の販売利益を確保することにより、説得力をもって拡大して行くことが可能となります。

*1: プロジェクトでは並行して、対象市・省におけるマーケット調査とハノイ市における消費者調査を実施しました。

対象グループの紹介—フンエン省

Chien Thang 安全野菜農協

今号では、パイロット省フンエン省において追加選定されたChien Thang 安全野菜農協について、農協のPham Van Khoi 組合長に紹介いただきます。

特徴「若い有志によって設立された新しい農協」

Chien Thang 農協は7名のメンバーにより2018年3月に設立されました。当初生産面積は5haでしたが、コミュニン内の周辺世帯との共同生産を進め、現在27名のメンバー、20haで生産を行っており、内5haでVietGAP認証を取得しています。

農協設立以来、独自に努力を行ってきましたが、更に、フンエン省農業農村開発局、及びJICAプロジェクトの支援を得て、生産性の向上と科学技術の導入を図り、スーパー、学校、工業区の食堂と販路を開拓することができました。現在農協の野菜供給量は1日当たり2～2.5トンとなっています。

課題「継続的な発展に向けた生産管理体制の強化」

農協は設立から間もなく、継続的に発展させていくためには、まだ様々な課題が残っており、幹部の役割分担が重複している等、管理体制に改善の余地があります。生産世帯に高齢者が多い中、



ネットハウス内でのツルムラサキ栽培

科学技術の理解と導入は発展途上であり、基準に適った前処理施設もまだ完成していません。また、顧客のニーズに沿って、時間通りにしかるべき配送手段によって農産物を納品することも課題となっています。

以上、農協のKhoi 組合長に紹介いただきました。プロジェクトでは冬作に続き夏作でも、生産計画作成支援、生産現場における堆肥作り等の技術導入支援を進めながら、課題となっている生産管理体制の強化を支援していきます。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICA プロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam
Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com